

燕駅から商店街をさんぽ
心温まる新スポット

燕地区の商店街にオープン
フードバンクつばめの
拠点施設を発見しました。

次に、燕駅で「スワロー号」を下車。駅から歩いて約7分のところにある、燕地区の商店街を散策します。

いっすねー！山脇さんが発見したのは、「TSUBAME BASE」と「宮町食堂」。これらの施設は、昨年11月に

オープンした「特定非営利活動法人フードバンクつばめ」が運営する複合型支援施設です。

早速、施設に立ち寄り、理事の青柳修次さん（写真①右）、理事の玉橋尚和さん（写真①左）に話を伺いました。



「TSUBAME BASE」と「宮町食堂」はそれぞれ、商店街の空き物件を改修した施設で、フードバンクつばめの活動拠点になっています。

「TSUBAME BASE」は、駄菓子屋や漫画、卓球台、休憩スペースなどが設置されていて、子どもたちの秘密基地のような雰囲気です。そのほかにも、ボランティアによる学習支援や学用品などを無償で提供する「就学支援事業」、「学用品リサイクル事業」、無人で24時間いつでも食料品や日用品を受け取ることができる「新潟コミュニティフリッジ」、古着や雑貨などを物々交換できる

TSUBAME BASE
宮町食堂



←フードバンクつばめの活動内容について詳細はこちら

「ZUPPEつばめ」などの機能が設けられています。「宮町食堂」は普段どなたでも利用でき、美味しい料理を楽しめます。毎週日曜日には、子どもが無料で利用できる「子ども食堂」を開設しています。今後は施設内に、保育士や保健師の経験者が子育ての相談に応える「子育て相談室」を予定しています。なお、宮町食堂の利益は子ども食堂の運営に使われています。



① Tsubame Base の外観
② 宮町食堂の入口
③ 宮町食堂の内観
④ Tsubame Base の小上がりスペース
⑤ インタビューをするいっすねー！山脇さん



←各施設の内観はこちらの動画からご覧ください。



子どもたちが安心して過ごせる居場所

特定非営利活動法人フードバンクつばめは2021年に設立。経済的に困窮する家庭の子どもをはじめ、市内で暮らす全ての子どもたちの未来を応援するさまざまな取り組みを行ってきました。この拠点施設も取り組みの一つとして、子どもたちが学校や家庭以外で安心して過ごせる「居場所づくり」を目的にオープン。学校や駅から近い商店街にあるため、地域住民の目が届き、子どもが一人で安全に帰ることが出来ます。学校帰

りや休日は、多くの子どもたちが利用しています。子どもたちの居場所づくりを円滑に運営していくためには、余っている食材（フードロス）や日用品などを日常的に提供していただくなど、個人や地域、企業などがお互いに協力し合いながら子どもたちを応援していくことが大切

です。

「困った時はお互いさま」の気持ちで助け合う。誰もが気軽に利用できる心温まるスポットがそこにはありました。

いっすねー！山脇の
オススメスポットを
紹介します。



ビジョンよしだで
毎日健康生活



スポット
03

ビジョン
よしだ

間もなくリニューアルオープンから1周年を迎える吉田トレーニングセンター「ビジョンよしだ」。やひこ号のバス停が入口のすぐ前にあります。トレーニングルームやこども水泳教室など、幅広い世代の人たちが利用している施設です。毎日健康生活をはじめよう！



食・遊・癒を
楽しむ道の駅



スポット
04

道の駅
国上

「自然と遊ぶ、道の駅」がコンセプトの道の駅SORAIRO 国上。スワロー号・やひこ号の両バス停があります。手ぶらBBQやデイキャンプの施設も備えた「STAY INN」タイプの新しい道の駅です。いっすねー！山脇さんの活動拠点でもあります。

